



東小だより

横浜市立東山田小学校
学校だより4月号
令和2年4月6日発行
TEL (594) 4851
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashiyamata/>

笑う門には福来たる



校長 宇都宮 桂

4月からの学校生活を楽しみにしていた子ども達がたくさんいたと想像しますが、8日～20日まで一斉臨時休業となり、子ども達の気持ちを考えると心が痛みます。私たち職員も春休み中から再開に向けて準備を進めていた中、とても残念でなりません。

さて、こんなときだからこそ、楽しく過ごす、幸せに生活できることを願います。「笑う門には福来たる」と言いますが、笑顔＝スマイルが大切だと感じます。笑顔が絶えない人には福が集まります。そこで、笑顔でいられるために3つのことを考えました。

一つ目には、「物事をプラス思考＝ポジティブに考えていくこと」です。落ち込んだとき、うまくいかないとき、気持ちはふさぎ込んで、マイナス思考＝ネガティブになりがちです。そこで、これをプラス思考に変えるには「体を動かすこと」です。簡単な運動はもちろん、その場から離れるといった小さな変化でも効果があると考えます。気持ちの切り替えのスイッチオンです。「これをすると気持ちが切り替えられる」ということが、分かっている子どももいますが、多くの子どもはアドバイスが必要だと感じます。また、「話を聞く」「ギュと抱きしめる」といった保護者の関わりが必要な子どももいると考えます。気持ちが切り替わったとき、考え方はプラス思考になり、笑顔になれると思います。

二つ目には「反省はするが、後悔はしない」です。「後悔先に立たず」と言いますが、すでにしてしまったことを悔やんでもどうにもなりません。そこで、反省＝振り返りをして、次に生かそうと考えることが大切です。すると、次に向けての改善点が生まれ、やる気や元気がわき、笑顔が生まれ、幸せに近づくと感じます。これは私たち大人も含め、子ども達に是非身につけてほしい考え方です。学校では、授業やテスト等の学習活動の中で振り返りの場面がありますが、家庭生活の中で、子ども達がうまくいかない場面があったとき、後悔ではなく反省をして、次に生かせるようにお子さんといっしょに考えていただくと幸いです。

三つ目には、「いい言葉を話す」です。例えば、人のよい面を見つけ、生き生きとした表情でそのことを相手に伝えていくと、自然と友だちが増え、いつも笑顔でいられるようになると思います。また、「ありがとう」「感謝します」「うれしいな」「ついでに」「幸せだ」等の言葉を話していると、自然と笑顔になり、幸せを引き寄せられると考えます。ごくありふれた当たり前の言葉ですが、人それぞれ魔法の言葉＝これを唱えると落ち着く、安心する＝幸せになれる言葉があると感じます。

お子さんの魔法の言葉は何ですか？ 私は「大丈夫だ～」です。

一斉臨時休業中の学習や健康、登校日等の詳細は、別紙をよくお読みください。学校再開を切に願います。それまでの期間、お子様の健康へのご留意をお願いいたします。そして、本年度も、保護者・地域のみなさまの暖かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

